

第353回脂溶性ビタミン総合研究委員会プログラム

日 時 平成 28 年 12 月 2 日 (金) 午後 1 時 30 分より
場 所 静岡県伊東市 ホテル伊東ガーデン AGS 館 1F 大会議室
世話人 古庄 律 教授
(東京農業大学応用生物科学部栄養科学科 食品科学研究室 教授)

研究発表

1. バイオファクターである*N*-アシルエタノールアミンとリソホスファチジン酸(LPA)の新規生成機構
1) 香川大学医学部・生化学 2) 徳島大学大学院薬科学教育部 3) 安田女子大学薬学部
坪井一人¹⁾、Iffat Ara Sonia Rahman¹⁾、Zahir Hussain¹⁾、山下量平²⁾、岡本蓉子²⁾、
宇山 徹¹⁾、田中 保²⁾、徳村 彰^{2,3)}、上田夏生¹⁾
2. 副甲状腺ホルモン初期分泌機構とその役割
徳島大学大学院医歯薬学研究部・臨床食管理学分野
竹谷 豊、木藤有紀、伊美友紀子、奥村仙示、増田真志
3. 自然発症 2 型糖尿病ラットを用いて作成した非アルコール性脂肪性肝疾患モデルの
ビタミン A およびビタミン E の動態ならびに病理学的評価
1) 東京農業大学応用生物科学部・栄養科学科、2) 東京慈恵会医科大学・臨床検査医学
前田宜昭¹⁾、谷岡由梨¹⁾、古庄 律¹⁾、目崎義弘²⁾、横山 寛²⁾、松浦知和²⁾
4. 高脂肪食投与マウスにおけるトコトリエノールの作用に関する基礎的検討
1) 芝浦工業大学大学院・システム理工学専攻、2) エーザイフードケミカル株式会社
福井浩二¹⁾、白井将志¹⁾、小池泰介²⁾、青木由典²⁾

企業講演

製薬企業におけるビタミン研究：

活性型ビタミン D₃ 誘導体研究を通じた骨粗鬆症治療薬エルデカルシトールの創製

中外製薬株式会社富士御殿場研究所創薬化学研究部

小野 芳幸